

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2016/05/27

第 28 号

熊本を中心とする地震で被災された皆様に心からお見舞申し上げます

4月14日以降、熊本県を中心に断続的に発生している大地震によりお亡くなりになった方々のご冥福を謹んでお祈りしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

シニアクラブとしては、連合、日本退職者連合、基幹労連が取り組みをすすめている「九州地震災害救援特別カンパ」について、各県本部の退職者組織としても、地域における取り組みに可能な限り参加していただくようお願いしています。

なお、6月9日（木）にシニアクラブの西澤昇治郎副会長が、お見舞いと激励のために現地に出向くこととしています。

暮らしの底上げに向け、社会的なうねりを！（メーデー）



4月29日（金）、働く人たちの祭典“メーデー中央大会”が開催され、代々木公園には連合をはじめ、諸団体から約4万名が結集し、中央式典や各種イベントに参加しました。わがシニアクラブからも10名が参加しました。

冒頭、主催者を代表して神津連合会長（写真）は、「九州の震災で厳しい避難生活を余儀なくされている多

くの方々が、いち早く普通の暮らしと仕事を取り戻せるよう、国を挙げて取り組みを急ぐ必要がある」と述べ、被災地への支援を強く呼びかけました。また、安倍政権に対し「働く者の将来への希望を確かなものにするべく、発信・行動していくことが重要。普通の国民、市民の感覚と目線において、政治に正面から真摯に向き合っていくことの重要性を訴え続けていかなければならない」と述べていました。

最後に、「暮らしの底上げに向け、本メーデーで決意をあらためて固め合い、社会的うねりを巻き起こしていこう」と力強く呼びかけました。



政策実現中央総決起集会を 1,000 名規模で開催 (5/26)

～とどろき利治必勝に向けての決意固め～

5月26日(木)19時から、基幹労連「5.26 政策実現に向けた中央総決起集会」が開催され、東京千代田区の「読売ホール」に全国から約1,000名の支援者が参集しました。シニアクラブから中央役員12名、東京、神奈川、千葉、埼玉の各県本部の退職者の会からも代表者の参加がありました。若いメンバーも数多く参加し、最後のガンバロー三唱は若手男女二人の発声で行われるなど、幅広い支援者が、残された期間の頑張りを誓い合いました。



「とどろき」さんを、今一度国会の場へ！

集会では、基幹労連工藤智司委員長から「臥薪嘗胆、この3年間耐えに耐えてきた。同志の熱い思いがあって、本日の決起集会開催にまで至った。情勢は厳しいものがあるが、一人ひとりが行うべきことを行えば、初期の目標を達成することができる。」、民進党の細野豪志衆議院議員から「民進党を生活者、納税者、消費者を代表する政党として自民党と直接勝負できる政党に高めたい。そのためには『とどろき』さんが、どうしても必要だ」、国政フォーラムの高木義明代表からは「いよいよ戦いのときがきた。資源・エネルギー問題、電力多消費産業の課題など、現場感覚を持ち、ものづくりの代表として実績のある『とどろき』さんを、今一度、国会へ」との必勝に向けての力強いメッセージがありました。

とどろき利治組織内候補予定者の決意

「この3年間、皆さんの支えがあったからこそ、ここまでこられた。心から感謝する。私がなぜ再挑戦する思いになったのか。それは、基幹労連の仲間の皆さんの頑張りが国政に伝わっていないからだ。国会議員に、ものづくりの経験者があまりに少なく、認識が低い。皆さんの頑張りを国政の場で訴えていきたい。

まだやり残した仕事がある。現政権は国民との約束を守っていない。消費税のアップ分は本当に社会保障に回っているのか。少子化対策、若い人への政策にもっと力を入れるべき時だ。国会の場で訴えていきたい。」



OBから再度、親戚・友人・知人に支援の働きかけ

アタック10 リーダーが率先して10人に電話や手紙でお願いを

今夏の参議院議員選挙は、現在、非常に厳しい戦いを展開しており、それだけにOBメンバーの取り組みの重要性が高まっています。基幹労連幹の会では、これまでの活動に加え、メンバー一人が、これまで紹介している方を含め、関わりの深い同僚・友人・知人10人程度に、電話や手紙などを通じて確実な支援をお願いする「アタック10」の取り組みを展開しています。

各県本部の退職者組織としては、現在、支援の取り組みを展開していただいていることと思いますが、厳しい情勢を踏まえ、こうした取り組みなども参考にして、各役員の皆様に再度、親戚・友人・知人に「アタック10」支援の働きかけをお願いします。

全国各地で地方ブロック懇談会（第2弾）を開催

地方ブロック懇談会（第2弾）が全国で展開されています。4月15日の中国ブロックを皮切りに、4月22日近畿ブロック、5月10日関東ブロック、5月20日四国ブロック、5月23日北陸ブロックで開催されました。

残念ながら、5月19日に開催予定だった九州ブロック懇談会は、熊本・大分を中心とする地震の関係で中止を余儀なくされましたが、シニアクラブ三役が九州の各県本部に可能な限り個別に訪問し、初期の目的が果たせるよう取り組みをすすめています。

今後の的確な取り組みが不可欠 近畿ブロック懇談会（4/22）

4月22日（金）大阪市において、大阪、兵庫、和歌山、京都、滋賀のOB会の代表など15名が参加して開催されました。組織運営の充実と強化・拡大のとりくみについて、会費のあり方、未加盟組織の加盟の働きかけの工夫、60歳からの雇用延長とOB会参加の時期など、各県本部の現在のとりくみの状況と課題が提起されました。

政策実現のとりくみでは、とどろき支援が十分に浸透できていない状況についても報告され、今後、情勢の正確な把握と今後の的確な対策の必要性が提起されました。

最後は、全員でガンバロー！



工夫をしながら支援の輪を拡大 関東ブロック懇談会 (5/10)

5月10日(火)基幹労連の会議室において、東京、神奈川、千葉、茨城のOB会の代表など10名が参加して開催されました。組織の強化・拡大に関して、少しずつ働きかけの成果が出てきていることが報告されました。参議院議員選挙にむけた取り組みではそれぞれ工夫をしながら支援の輪の拡大に取り組んでいることが報告されましたが、県本部全体としての取り組みについて、なかなか思うようには進んでいない現状の報告もあり、今後課題を残しているとのことでした。

何としても結果を出そう 四国ブロック懇談会 (5/20)



5月20日(金)住友重機械労連愛媛地方本部において、愛媛、香川両県の退職者の会代表など10名が参加して開催されました。愛媛からは住重労連愛媛地本特組、住友金属鉱山別子退職者連盟が、香川からは川重坂出OB会の取り組みが報告されました。どちらも歴史ある組織で、OB会として充実した活動が展開されていますが、川重坂出の最近の動きとして、女性退職者のOB会加入があり、活動が広がってきたとのことでした。

政策実現の取り組みに関し、愛媛県では「とどろき氏本人に会いたい」という要望が本年1月末に実現し、直接話を聞き、とどろきさんが一人ひとりと写真を撮ったことで、より親密度が高まったとのことでした。何としても結果を出そう、という思いを皆で確認し、ガンバロー!

とどろき必勝に向けて意思統一 北陸ブロック懇談会 (5/23)

5月23日(月)新潟県直江津駅前のホテルにおいて、富山、新潟のOB会の代表など9名が参加して開催されました。宮園会長からは「3年前の反省も踏まえ、前回とはちがう取り組みを展開している。とどろき必勝に向けた意思統一を」との呼びかけを行いました。

各県の代表からは、参議院議員選挙の具体的な支援活動の内容について数字を含めた詳細な報告があり、支援の輪が着実に広がっていることを確認しました。

また、組織拡大の取り組みについても、今後、地域の実情に即した形で働きかけを行っていくことが報告されました。

